

# 令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 山梨県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	北病院	3
甲府市	甲府病院	4
富士吉田市	国保市立病院	5
都留市	都留市立病院	6
山梨市	牧丘病院	7
大月市	中央病院	8
韮崎市	国保市立病院	9
北杜市	塩川病院	10
北杜市	甲陽病院	11
上野原市	上野原市立病院	12
甲州市	勝沼病院	13
身延町早川町国民健康保険病院一部組合	飯富病院	14
峡南医療センター企業団	市川三郷病院	15
峡南医療センター企業団	富士川病院	16

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>		都道府県名	山梨県
		市町村・組合名	
		病院名	中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	834,930	
決算規模(千円)	451,981,211	
標準財政規模(千円)	260,600,193	
財政力指数	0.41485	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	208.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	-		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>		都道府県名	山梨県
		市町村・組合名	
		病院名	北病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	834,930	
決算規模（千円）	451,981,211	
標準財政規模（千円）	260,600,193	
財政力指数	0.41485	
経常収支比率（%）	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.6
	将来負担比率（%）	208.6

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	98.9
材料費	-	-	24.7	8.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	1.1
減価償却費	-	-	9.0	12.7
経費	-	-	23.3	34.6
(うち委託料)	-	-	11.5	17.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.7	98.9
医業収支比率	-		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	-		85.7	64.3

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	甲府市
				病院名	甲府病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,066 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災輪		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	402	71.9	72.2	75.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	3.3	-	-
計	408	70.9	71.1	74.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	13.1	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	193,125	
決算規模(千円)	75,561,355	
標準財政規模(千円)	42,807,231	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	72.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.2
修正医業収益(千円)	7,729,706

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,838,378			
1 経常収益	8,838,378			
(1) 医業収益	8,048,118			
入院収益	5,107,834			
外来収益	2,284,232			
診療収入計	7,392,066			
その他医業収益	656,052			
(うち他会計負担金)	318,412			
(2) 医業外収益	790,260			
(うち国・都道府県補助金)	24,128			
(うち他会計補助・負担金)	693,242			
(うち長期前受金戻入)	21,339			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,169,995			
2 経常費用	9,169,995			
(1) 医業費用	8,664,624			
職員給与費	4,540,585	56.4	55.7	54.0
材料費	1,737,613	21.6	24.7	26.9
(うち薬品費)	889,042	11.0	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	848,571	10.5	11.0	12.2
減価償却費	412,921	5.1	9.0	7.9
経費	1,945,742	24.2	23.3	19.2
(うち委託料)	1,040,580	12.9	11.5	9.3
研究研修費	23,672			
資産減耗費	4,091			
(2) 医業外費用	505,371			
(うち支払利息)	151,651	1.9	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-331,617			
純損益	-331,617			
累積欠損金	13,214,473			
経常収支比率	96.4		97.7	98.8
医業収支比率	92.9		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.6		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	85.4		85.7	89.1

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,178,020
1 固定資産	10,643,742
(1) 有形固定資産	10,614,045
(2) 無形固定資産	2,273
(3) 投資その他の資産	27,424
2 流動資産	1,534,278
(1) 現金及び預金	152,258
(2) 未収金及び未収収益	1,282,118
(3) 貸倒引当金( )	6,330
(4) 貯蔵品	102,625
3 繰延資産	-
負債合計	10,590,218
1 固定負債	6,491,301
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,091,301
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	400,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,759,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	927,846
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	316,535
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,890,000
(8) 未払金及び未払費用	581,749
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	339,738
(1) 長期前受金	842,777
(2) 長期前受金収益化累計額( )	503,039
資本合計	1,587,802
1 資本金	14,700,845
2 剰余金	-13,113,043
(1) 資本剰余金	101,430
(2) 利益剰余金	-13,214,473
負債・資本合計	12,178,020
不良債務	1,297,055
実質資金不足額	1,297,055
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,011,654	1,011,654
資本勘定繰入	588,573	900,915
計	1,600,227	1,912,569

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	1,297,055	16.1
平成30年度	1,319,625	16.8
平成29年度	691,092	8.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	164.2
健全化法上の資金不足額(千円)	1,297,055
健全化法上の資金不足比率(%)	16.1
地財法上の資金不足額(千円)	1,297,055
地財法上の資金不足比率(%)	16.1

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	山梨県
	市町村・組合名	富士吉田市
	病院名	国保市立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	256	82.4	80.7	84.3
療養	50	27.4	37.2	56.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.5	-	-
計	310	72.5	72.6	78.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	10.0	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	49,003	
決算規模(千円)	25,107,444	
標準財政規模(千円)	10,703,942	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	82.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	29.0

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Iガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,358 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救が感災輪
診療科数	22	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.2
修正医業収益(千円)	6,745,289

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,764,124			
1 経常収益	7,641,676			
(1) 医業収益	6,858,615			
入院収益	4,271,866			
外来収益	2,128,844			
診療収入計	6,400,710			
その他医業収益	457,905			
(うち他会計負担金)	113,326			
(2) 医業外収益	783,061			
(うち国・都道府県補助金)	1,117			
(うち他会計補助・負担金)	488,661			
(うち長期前受金戻入)	264,112			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	122,448			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,917,070			
2 経常費用	7,917,070			
(1) 医業費用	7,565,736			
職員給与費	3,998,779	58.3	55.7	57.0
材料費	1,623,787	23.7	24.7	24.5
(うち薬品費)	745,029	10.9	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	873,591	12.7	11.0	11.3
減価償却費	510,189	7.4	9.0	9.3
経費	1,413,586	20.6	23.3	22.1
(うち委託料)	895,200	13.1	11.5	11.1
研究研修費	18,484			
資産減耗費	911			
(2) 医業外費用	351,334			
(うち支払利息)	70,806	1.0	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-275,394			
純損益	-152,946			
累積欠損金	853,029			
経常収支比率	96.5		97.7	96.4
医業収支比率	90.7		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	7.8		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	88.9		85.7	85.3

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,355,668
1 固定資産	6,663,600
(1) 有形固定資産	6,654,124
(2) 無形固定資産	2,764
(3) 投資その他の資産	6,712
2 流動資産	2,692,068
(1) 現金及び預金	1,391,593
(2) 未収金及び未収収益	1,172,145
(3) 貸倒引当金( )	12,733
(4) 貯蔵品	141,063
3 繰延資産	-
負債合計	7,073,545
1 固定負債	3,906,662
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,987,438
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	803,601
(7) リース債務	115,623
2 流動負債	1,155,955
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	280,448
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	225,561
(6) リース債務	148,784
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	488,420
(9) 前受金及び前受収益	12,742
3 繰延収益	2,010,928
(1) 長期前受金	9,370,666
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,359,738
資本合計	2,282,123
1 資本金	3,090,168
2 剰余金	-808,045
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-808,045
負債・資本合計	9,355,668
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	715,515	601,987
資本勘定繰入	187,159	190,871
計	902,674	792,858

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
 占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	都留市
				病院名	都留市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,359 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救地輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	140	56.9	53.1	58.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	56.9	53.1	58.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	11.7	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	32,002	
決算規模(千円)	13,785,391	
標準財政規模(千円)	8,722,389	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	88.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	19.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,136,270			
1 経常収益	3,133,403			
(1) 医業収益	2,258,518			
入院収益	1,199,877			
外来収益	955,696			
診療収入計	2,155,573			
その他医業収益	102,945			
(うち他会計負担金)	24,643			
(2) 医業外収益	874,885			
(うち国・都道府県補助金)	26,359			
(うち他会計補助・負担金)	251,718			
(うち長期前受金戻入)	56,647			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,867			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,344,974			
2 経常費用	3,344,721			
(1) 医業費用	2,754,231			
職員給与費	1,360,004	60.2	55.7	61.3
材料費	463,498	20.5	24.7	17.6
(うち薬品費)	226,489	10.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	237,009	10.5	11.0	8.2
減価償却費	248,157	11.0	9.0	10.2
経費	674,139	29.8	23.3	30.5
(うち委託料)	310,199	13.7	11.5	13.0
研究研修費	3,449			
資産減耗費	4,984			
(2) 医業外費用	590,490			
(うち支払利息)	6,931	0.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	253			
損益				
経常損益	-211,318			
純損益	-208,704			
累積欠損金	675,896			
経常収支比率	93.7		97.7	96.5
医業収支比率	82.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	8.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	85.4		85.7	80.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,752,853
1 固定資産	3,779,586
(1) 有形固定資産	3,694,430
(2) 無形固定資産	85,156
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	973,267
(1) 現金及び預金	469,098
(2) 未収金及び未収収益	473,910
(3) 貸倒引当金( )	6,673
(4) 貯蔵品	36,932
3 繰延資産	-
負債合計	3,210,340
1 固定負債	1,642,359
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,022,106
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	620,253
(7) リース債務	-
2 流動負債	813,302
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,128
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,881
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	583,293
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	754,679
(1) 長期前受金	2,325,857
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,571,178
資本合計	1,542,513
1 資本金	1,415,724
2 剰余金	126,789
(1) 資本金剰余金	367,613
(2) 利益剰余金	-240,824
負債・資本合計	4,752,853
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.1
修正医業収益(千円)	2,233,875

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	276,361	276,361
資本勘定繰入	86,587	86,587
計	362,948	362,948

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	山梨県
		市町村・組合名	山梨市
		病院名	牧丘病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	1,458 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	5	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	57.2	58.2	66.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	57.2	58.2	66.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	17.0	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	35,141	
決算規模(千円)	19,496,013	
標準財政規模(千円)	10,065,696	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	117.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,825			
1 経常収益	19,825			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	19,825			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	19,482			
(うち長期前受金戻入)	343			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,482			
2 経常費用	19,482			
(1) 医業費用	4,469			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	4,469	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	15,013			
(うち支払利息)	13	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	343			
純損益	343			
累積欠損金	36,929			
経常収支比率	101.8		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	98.3		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	98.3		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	1.8		85.7	64.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	425,786
1 固定資産	401,276
(1) 有形固定資産	401,276
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	24,510
(1) 現金及び預金	24,510
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,297
1 固定負債	960
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	960
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	160
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,177
(1) 長期前受金	4,294
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,117
資本合計	421,489
1 資本金	458,418
2 剰余金	-36,929
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-36,929
負債・資本合計	425,786
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,476	19,482
資本勘定繰入	388	388
計	4,864	19,870

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	山梨県
		市町村・組合名	大月市
		病院名	中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	43.2	37.5
療養	-	-	42.1	49.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	42.1	39.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	14.7	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	25,419	
決算規模(千円)	11,877,355	
標準財政規模(千円)	7,739,059	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	88.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.7
	将来負担比率(%)	130.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	39,388	1.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	韮崎市
				病院名	国保市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,272 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救	災	輪
診療科数	22	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	137	71.5	72.0	67.9
療養	34	78.8	81.1	78.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	171	73.0	73.8	70.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	16.6	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	30,680	
決算規模(千円)	14,329,262	
標準財政規模(千円)	8,770,724	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	76.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.7
修正医業収益(千円)	2,217,484

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,505,773			
1 経常収益	2,505,773			
(1) 医業収益	2,318,114			
入院収益	1,488,421			
外来収益	679,954			
診療収入計	2,168,375			
その他医業収益	149,739			
(うち他会計負担金)	100,630			
(2) 医業外収益	187,659			
(うち国・都道府県補助金)	17,884			
(うち他会計補助・負担金)	80,086			
(うち長期前受金戻入)	68,185			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,469,571			
2 経常費用	2,461,131			
(1) 医業費用	2,366,913			
職員給与費	1,361,885	58.7	55.7	61.3
材料費	422,809	18.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	215,663	9.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	177,675	7.7	11.0	8.2
減価償却費	136,661	5.9	9.0	10.2
経費	439,583	19.0	23.3	30.5
(うち委託料)	249,636	10.8	11.5	13.0
研究研修費	3,663			
資産減耗費	2,312			
(2) 医業外費用	94,218			
(うち支払利息)	10,357	0.4	1.4	1.6
(3) 特別損失	8,440			
損益				
経常損益	44,642			
純損益	36,202			
累積欠損金	227,878			
経常収支比率	101.8		97.7	96.5
医業収支比率	97.9		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	94.5		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,786,939
1 固定資産	1,473,201
(1) 有形固定資産	1,155,802
(2) 無形固定資産	2,263
(3) 投資その他の資産	315,136
2 流動資産	1,313,738
(1) 現金及び預金	931,013
(2) 未収金及び未収収益	366,695
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	16,030
3 繰延資産	-
負債合計	2,024,266
1 固定負債	1,390,527
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	678,227
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	707,758
(7) リース債務	4,542
2 流動負債	398,574
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,487
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	75,103
(6) リース債務	4,160
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	259,725
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	235,165
(1) 長期前受金	717,094
(2) 長期前受金収益化累計額( )	481,929
資本合計	762,673
1 資本金	602,839
2 剰余金	159,834
(1) 資本剰余金	105,406
(2) 利益剰余金	54,428
負債・資本合計	2,786,939
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	180,716	180,716
資本勘定繰入	60,172	60,172
計	240,888	240,888

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	北杜市
				病院名	塩川病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,228 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	54	91.1	92.0	93.9
療養	54	88.0	87.5	92.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	108	89.5	89.8	93.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	17.9	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	45,111	
決算規模(千円)	27,360,506	
標準財政規模(千円)	19,013,429	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.1
修正医業収益(千円)	1,393,424

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,027,337			
1 経常収益	2,025,542			
(1) 医業収益	1,455,502			
入院収益	881,216			
外来収益	444,704			
診療収入計	1,325,920			
その他医業収益	129,582			
(うち他会計負担金)	62,078			
(2) 医業外収益	570,040			
(うち国・都道府県補助金)	8,311			
(うち他会計補助・負担金)	96,230			
(うち長期前受金戻入)	138,902			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,795			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,126,125			
2 経常費用	2,126,125			
(1) 医業費用	1,697,999			
職員給与費	890,856	61.2	55.7	61.3
材料費	261,576	18.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	124,260	8.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	137,178	9.4	11.0	8.2
減価償却費	240,055	16.5	9.0	10.2
経費	298,291	20.5	23.3	30.5
(うち委託料)	147,147	10.1	11.5	13.0
研究研修費	1,982			
資産減耗費	5,239			
(2) 医業外費用	428,126			
(うち支払利息)	39,324	2.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-100,583			
純損益	-98,788			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.3		97.7	96.5
医業収支比率	85.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	87.8		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,264,010
1 固定資産	3,288,681
(1) 有形固定資産	3,262,694
(2) 無形固定資産	624
(3) 投資その他の資産	25,363
2 流動資産	1,975,329
(1) 現金及び預金	1,426,340
(2) 未収金及び未収収益	504,418
(3) 貸倒引当金( )	10,863
(4) 貯蔵品	54,979
3 繰延資産	-
負債合計	4,368,540
1 固定負債	2,664,348
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,598,293
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	66,055
(7) リース債務	-
2 流動負債	649,451
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	380,778
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	146,670
(6) リース債務	463
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	117,462
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,054,741
(1) 長期前受金	3,781,883
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,727,142
資本合計	895,470
1 資本金	973,920
2 剰余金	-78,450
(1) 資本剰余金	165,182
(2) 利益剰余金	-243,632
負債・資本合計	5,264,010
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,308	158,308
資本勘定繰入	129,863	129,863
計	288,171	288,171

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	北杜市
				病院名	甲陽病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,220 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救感輪		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	86	59.1	57.9	58.7
療養	32	78.3	70.1	72.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	2.8	-	-
計	122	62.3	59.2	60.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	17.0	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	45,111	
決算規模(千円)	27,360,506	
標準財政規模(千円)	19,013,429	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,771,114			
1 経常収益	1,771,114			
(1) 医業収益	1,416,434			
入院収益	672,496			
外来収益	608,820			
診療収入計	1,281,316			
その他医業収益	135,118			
(うち他会計負担金)	57,092			
(2) 医業外収益	354,680			
(うち国・都道府県補助金)	1,310			
(うち他会計補助・負担金)	296,967			
(うち長期前受金戻入)	50,826			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,702,394			
2 経常費用	1,702,394			
(1) 医業費用	1,634,188			
職員給与費	1,017,214	71.8	55.7	61.3
材料費	223,649	15.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	126,790	9.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	96,859	6.8	11.0	8.2
減価償却費	86,353	6.1	9.0	10.2
経費	303,647	21.4	23.3	30.5
(うち委託料)	166,355	11.7	11.5	13.0
研究研修費	2,772			
資産減耗費	553			
(2) 医業外費用	68,206			
(うち支払利息)	25,166	1.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	68,720			
純損益	68,720			
累積欠損金	478,367			
経常収支比率	104.0		97.7	96.5
医業収支比率	86.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	25.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	20.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	83.2		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,264,010
1 固定資産	3,288,681
(1) 有形固定資産	3,262,694
(2) 無形固定資産	624
(3) 投資その他の資産	25,363
2 流動資産	1,975,329
(1) 現金及び預金	1,426,340
(2) 未収金及び未収収益	504,418
(3) 貸倒引当金( )	10,863
(4) 貯蔵品	54,979
3 繰延資産	-
負債合計	4,368,540
1 固定負債	2,664,348
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,598,293
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	66,055
(7) リース債務	-
2 流動負債	649,451
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	380,778
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	146,670
(6) リース債務	463
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	117,462
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,054,741
(1) 長期前受金	3,781,883
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,727,142
資本合計	895,470
1 資本金	973,920
2 剰余金	-78,450
(1) 資本剰余金	165,182
(2) 利益剰余金	-243,632
負債・資本合計	5,264,010
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.2
修正医業収益(千円)	1,359,342

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	354,059	354,059
資本勘定繰入	79,500	79,500
計	433,559	433,559

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	上野原市
				病院名	上野原市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,542 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	17	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	135	46.9	46.3	47.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	135	46.9	46.3	47.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	13.7	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	24,805	
決算規模(千円)	10,514,520	
標準財政規模(千円)	7,266,291	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	63.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	309,637			
1 経常収益	309,593			
(1) 医業収益	43,766			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	43,766			
(うち他会計負担金)	43,766			
(2) 医業外収益	265,827			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	250,776			
(うち長期前受金戻入)	14,114			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	44			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	384,674			
2 経常費用	384,674			
(1) 医業費用	379,734			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	173,419	396.2	9.0	10.2
経費	204,260	466.7	23.3	30.5
(うち委託料)	200,000	457.0	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	2,055			
(2) 医業外費用	4,940			
(うち支払利息)	2,545	5.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-75,081			
純損益	-75,037			
累積欠損金	75,037			
経常収支比率	80.5		97.7	96.5
医業収支比率	11.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	95.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	673.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	95.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	3.9		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,928,106
1 固定資産	2,590,371
(1) 有形固定資産	2,568,939
(2) 無形固定資産	1,301
(3) 投資その他の資産	20,131
2 流動資産	337,735
(1) 現金及び預金	336,142
(2) 未収金及び未収収益	1,593
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,630,205
1 固定負債	962,858
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	962,858
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	117,747
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	116,827
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	548
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	549,600
(1) 長期前受金	882,882
(2) 長期前受金収益化累計額( )	333,282
資本合計	1,297,901
1 資本金	1,350,776
2 剰余金	-52,875
(1) 資本剰余金	14,062
(2) 利益剰余金	-66,937
負債・資本合計	2,928,106
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	294,542	294,542
資本勘定繰入	48,279	48,279
計	342,821	342,821

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	171.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	甲州市
				病院名	勝沼病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	1,991 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	8	看護配置	15	: 1	
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	51	51.8	62.6	65.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	51	51.8	62.6	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		34.4	31.9	39.2

設立団体の状況		
人口(人)	31,671	
決算規模(千円)	16,399,818	
標準財政規模(千円)	10,039,963	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.0
	将来負担比率(%)	147.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,893			
1 経常収益	19,893			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	19,893			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	12,193			
(うち長期前受金戻入)	7,700			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,778			
2 経常費用	19,778			
(1) 医業費用	18,517			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	16,617	-	9.0	11.1
経費	1,900	-	23.3	31.9
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	1,261			
(うち支払利息)	1,149	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	115			
純損益	115			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.6		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	61.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	61.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	38.9		85.7	74.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	532,956
1 固定資産	471,206
(1) 有形固定資産	404,946
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	66,260
2 流動資産	61,750
(1) 現金及び預金	61,750
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	90,778
1 固定負債	34,175
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	34,175
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	11,770
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,770
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	44,833
(1) 長期前受金	90,350
(2) 長期前受金収益化累計額( )	45,517
資本合計	442,178
1 資本金	354,507
2 剰余金	87,671
(1) 資本金剰余金	66,260
(2) 利益剰余金	21,411
負債・資本合計	532,956
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	9,629	12,193
資本勘定繰入	5,608	5,608
計	15,237	17,801

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	身延町早川町国民健康保険病院一部組合
				病院名	飯富病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,995 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ輪		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	61	56.2	81.0	86.5
療養	26	84.3	90.7	78.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	64.6	83.9	84.1
平均在院日数(一般病床のみ)		21.9	26.2	24.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.6
修正医業収益(千円)	1,121,427

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,608,451			
1 経常収益	1,608,451			
(1) 医業収益	1,121,427			
入院収益	624,013			
外来収益	469,801			
診療収入計	1,093,814			
その他医業収益	27,613			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	487,024			
(うち国・都道府県補助金)	22,325			
(うち他会計補助・負担金)	76,202			
(うち長期前受金戻入)	37,735			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,746,062			
2 経常費用	1,746,062			
(1) 医業費用	1,294,996			
職員給与費	702,249	62.6	55.7	72.6
材料費	251,062	22.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	135,321	12.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	99,527	8.9	11.0	5.6
減価償却費	131,281	11.7	9.0	11.1
経費	207,529	18.5	23.3	31.9
(うち委託料)	58,278	5.2	11.5	13.0
研究研修費	2,443			
資産減耗費	432			
(2) 医業外費用	451,066			
(うち支払利息)	18,256	1.6	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-137,611			
純損益	-137,611			
累積欠損金	200,544			
経常収支比率	92.1		97.7	97.4
医業収支比率	86.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	4.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	4.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	87.8		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,406,001
1 固定資産	2,493,600
(1) 有形固定資産	2,477,475
(2) 無形固定資産	491
(3) 投資その他の資産	15,634
2 流動資産	912,401
(1) 現金及び預金	493,922
(2) 未収金及び未収収益	160,514
(3) 貸倒引当金( )	3,000
(4) 貯蔵品	6,668
3 繰延資産	-
負債合計	1,223,354
1 固定負債	464,133
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	453,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	10,948
2 流動負債	446,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	80,580
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	69,370
(6) リース債務	3,376
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	36,406
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	313,150
(1) 長期前受金	942,479
(2) 長期前受金収益化累計額( )	629,329
資本合計	2,182,647
1 資本金	2,377,443
2 剰余金	-194,796
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-194,796
負債・資本合計	3,406,001
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	224,135	76,202
資本勘定繰入	22,555	22,555
計	246,690	98,757

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	峡南医療センター企業団
				病院名	市川三郷病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,842 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ輪		
診療科数	12	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	90	31.6	29.6	26.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	31.6	29.6	26.2
平均在院日数(一般病床のみ)		23.8	18.9	18.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.3
修正医業収益(千円)	933,599

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,534,312			
1 経常収益	1,534,312			
(1) 医業収益	933,599			
入院収益	260,988			
外来収益	642,674			
診療収入計	903,662			
その他医業収益	29,937			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	600,713			
(うち国・都道府県補助金)	6,202			
(うち他会計補助・負担金)	189,082			
(うち長期前受金戻入)	67,178			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,526,337			
2 経常費用	1,525,875			
(1) 医業費用	1,120,870			
職員給与費	512,376	54.9	55.7	72.6
材料費	178,273	19.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	114,751	12.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,354	6.8	11.0	5.6
減価償却費	67,921	7.3	9.0	11.1
経費	360,580	38.6	23.3	31.9
(うち委託料)	144,524	15.5	11.5	13.0
研究研修費	1,720			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	405,005			
(うち支払利息)	4,673	0.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	462			
損益				
経常損益	8,437			
純損益	7,975			
累積欠損金	800,078			
経常収支比率	100.6		97.7	97.4
医業収支比率	83.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	12.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	88.2		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,850,297
1 固定資産	1,773,684
(1) 有形固定資産	1,716,589
(2) 無形固定資産	7,198
(3) 投資その他の資産	49,897
2 流動資産	1,076,613
(1) 現金及び預金	384,623
(2) 未収金及び未収収益	663,818
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	28,172
3 繰延資産	-
負債合計	2,885,885
1 固定負債	1,381,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	737,275
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	538,426
(6) 引当金	104,624
(7) リース債務	793
2 流動負債	1,057,834
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,608
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	11,574
(5) 引当金	149,654
(6) リース債務	520
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	331,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	446,933
(1) 長期前受金	1,677,226
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,230,293
資本合計	-35,588
1 資本金	333,008
2 剰余金	-368,596
(1) 資本金剰余金	380,034
(2) 利益剰余金	-748,630
負債・資本合計	2,850,297
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	35,588
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	169,629	189,082
資本勘定繰入	23,141	106,816
計	192,770	295,898

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	77,627	2.4
平成29年度	487,522	15.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	峡南医療センター企業団
				病院名	富士川病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,893 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	感災	輪
診療科数	11	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	154	73.0	72.1	65.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	1.0	-	-
計	158	71.1	70.2	63.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	14.3	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	100.0
修正医業収益(千円)	2,371,242

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,199,496			
1 経常収益	3,199,496			
(1) 医業収益	2,371,242			
入院収益	1,498,302			
外来収益	623,020			
診療収入計	2,121,322			
その他医業収益	249,920			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	828,254			
(うち国・都道府県補助金)	2,487			
(うち他会計補助・負担金)	262,015			
(うち長期前受金戻入)	60,699			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,985,022			
2 経常費用	2,984,201			
(1) 医業費用	2,371,739			
職員給与費	1,115,767	47.1	55.7	61.3
材料費	435,364	18.4	24.7	17.6
(うち薬品費)	216,331	9.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	219,033	9.2	11.0	8.2
減価償却費	67,429	2.8	9.0	10.2
経費	749,666	31.6	23.3	30.5
(うち委託料)	261,241	11.0	11.5	13.0
研究研修費	3,513			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	612,462			
(うち支払利息)	1,114	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	821			
損益				
経常損益	215,295			
純損益	214,474			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.2		97.7	96.5
医業収支比率	100.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	98.4		85.7	80.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,850,297
1 固定資産	1,773,684
(1) 有形固定資産	1,716,589
(2) 無形固定資産	7,198
(3) 投資その他の資産	49,897
2 流動資産	1,076,613
(1) 現金及び預金	384,623
(2) 未収金及び未収収益	663,818
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	28,172
3 繰延資産	-
負債合計	2,885,885
1 固定負債	1,381,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	737,275
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	538,426
(6) 引当金	104,624
(7) リース債務	793
2 流動負債	1,057,834
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,608
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	11,574
(5) 引当金	149,654
(6) リース債務	520
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	331,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	446,933
(1) 長期前受金	1,677,226
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,230,293
資本合計	-35,588
1 資本金	333,008
2 剰余金	-368,596
(1) 資本剰余金	380,034
(2) 利益剰余金	-748,630
負債・資本合計	2,850,297
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	35,588
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	258,584	262,015
資本勘定繰入	24,429	58,181
計	283,013	320,196

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	77,627	2.4
平成29年度	487,522	15.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。